

令和4年度3学期 学校評価 自己評価書

1 学校の重点目標

- 主体的な課題解決活動の充実を目指した、授業の展開と学力向上
- 生徒指導的諸問題への早期対応、組織的対応
- 道徳、人権教育を推進し、人間関係構築力育成や不登校(傾向)新出防止
- 教育相談や特別活動等を充実し、生徒自身の選択による進路実現
- 学級活動や生徒会活動等を通じた主体的な生徒の育成

2 課題と改善策

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
重点項目	1 自他の生命を尊重する生徒の育成	3.7	・生徒指導部を中心に学校全体で取り組んでいる。
	2 基礎・基本の定着、個性を伸ばそうとする生徒の育成	3.6	・個別指導の充実、指導法改善の推進,タブレット活用。
	3 健康増進に努め、最後までやり遂げようとする生徒の育成	3.0	・コロナ禍で制限された中で朝ラン等がんばっていた。
	4 特色ある教育活動による、心豊かな生徒の育成	3.7	・卒業前の地域清掃ボランティアを実施することができた。
	5 授業を通じた研修の充実、指導力の向上	3.3	・研究授業の計画的な実施。
生徒指導	1 基本的な生活習慣の徹底	3.8	・共通理解事項を生徒指導委員会で確認し、継続的な取組を推進した。
	2 問題行動等の早期発見と対応、非行の未然防止	3.5	・不登校や不登校傾向生徒に対して、学年・学校で対応できた。
	3 全職員一体の指導態勢の確立、心に届く生徒指導	3.5	・生徒指導委員会を中心に各学年で連携した指導ができた。
	4 教育相談活動の重視、生徒との心のふれ合い	3.4	・相談週間や生活記録の活用,日頃の相談活動の充実を図った。
	5 いじめ問題や不登校に対する人間関係づくり	3.6	・担任、学年部、保健室を中心に誠実に取り組んでいる。
学力向上	1 学習意欲や態度の向上を促す授業の充実	3.7	・主体的な学びを推進する指導方法の工夫。
	2 個性の伸長、基礎・基本の定着を図る授業	3.6	・ノート点検や小テストの継続的な実施、個別指導の充実に取り組んだ。
	3 問題解決的な学習、体験的学習の指導法	3.2	・主体的・対話的で深い学びを目指し研究授業を実施した。
	4 総合的な学習の時間の指導法	3.4	・タブレット等を活用し、自ら課題を設定する学習へ。
	5 少人数指導による指導法の工夫	3.2	・数学・英語での取り組みが全教科に波及するようにする。
心の教育	1 道徳の時間の工夫・充実、道徳的実践力	3.6	・各学年でローテーション授業に取り組んでいる、
	2 心豊かな生徒の育成	3.6	・学校行事の運営を生徒主体に行い、自己肯定感を高めるなどの取組を勧めた。
	3 読書指導の充実、読書習慣の定着	3.2	・学校図書館司書と連携した取り組みにより、充実した活動になった。
	4 人権教育に対する研修の推進	3.5	・SNSによる事案への対応。
	5 人権尊重の精神・生命尊重の精神の育成	3.7	・道徳授業での内容充実を図ることができた。
	6 特別支援教育への理解(合理的配慮)	3.5	・多くの職員が関わり共通理解を行うことで、理解を深めた。
体力向上	1 健康づくり、気力・体力づくりの推進・充実	3.4	・授業等で体力向上に努めた。
	2 定期的な安全点検を実施し、事故防止	3.5	・毎月の点検活動が充実し改善項目が減った。
	3 部活動に充実、楽しい体力づくり、規律ある態度	3.7	・昨年度と比べて大会への出場も増えた。
	4 給食マナー指導、歯磨き指導	3.7	・栄養教諭、養護教諭の巡回指導等が効果的である。
教育環境	1 清潔で落ち着いたきれいな学校	3.3	・清掃作業の指導と見届けに取り組んだが、無言作業への意識の高揚が課題となる。
	2 校舎内外の整理整頓	3.5	・各責任者を中心に適切な環境が保たれていた。
	3 社会参加活動やボランティア活動	3.2	・生徒会を中心にした募金活動を行うことができた。
	4 校内掲示教育の活性化	3.2	・係のみに頼る掲示になっている。

3 令和5年度に向けての取組

- 基礎学力の定着及び学力向上のためのアクティブラーニングの視点に立った授業改革に努め、困り感をもつ生徒への個別対応に取り組む。
- 保健室登校・不登校傾向生徒の状況把握、及び心のパートナーやSC、SSW等の外部機関と連携した対応を講じる。
- コロナ禍における健康・安全指導の徹底。
- 無言作業の徹底を生徒主体で取り組ませる手立てを講じていく。